Fグループ研修会

この頃思うこと

～音楽と心～

心中の物を写さずんば
多しといえどもまた何をかなさん　　良寛

お話と演奏

☆ **渡邊　明**（バリトン）

☆ **宮城令子**（ピアノ）

曲　目

☆ バリトン独唱

箕作秋吉　　芭蕉紀行集

☆ ピアノ独奏

モーリス ラヴェル　　亡き王女のためのパヴァーヌ

エリク サティ　　グノシェンヌ 第1番

クロード ドビュッシー　　花　火（前奏曲第二集より）

渡邊　明［バリトン］

東京芸術大学音楽学部卒業、同大学院修了。1968年ＤＡＡＤ留学生として国立ベルリン音楽大学に留学、1972年同大学を首席卒業。ベルリンＳＦＢ放送、ドイツ放送などで放送。又ベルリンに於けるドイツ現代歌曲の演奏はBerline Mutgenpost, Der Tagesspiegelの両氏に「入念な言葉の表現」「本格的なバリトン」等と評された。
1979年、83年の両年パリのサル・ガヴォーで「冬の旅」等によるリサイタルを行い、オロール紙は「完璧なスタイルでコントロールされた歌の芸術。彼の“冬の旅”は最高の霊感にもとづいて、適切な表現によって感動を歌い上げた」と評している。
1985年、86年の両年フランス国営ＴＶに出演、マーラーのリュッケルトの詩による歌曲が放映された。近年は、「虎月傳」「浅芽ヶ宿」「人は知らず」等の創作オペラや日本歌曲に演奏活動の主題を置いている。
二期会会員・理事。フェリス女学院大学音楽学部教授。

宮城令子

東京芸術大学附属高校、東京芸術大学に於て安川加寿子氏に師事、卒業後パリへ留学。２年間、フランス音楽を学ぶ。さらに、３年間西ベルリン国立音楽大学でドイツ音楽を学び、同校を首席で卒業。在欧中に“ポッツォリ”国際ピアノコンクールで入賞、さらに“ピオッティ”国際コンクールで銀賞を得る。帰国後現在にいたるまでドイツ、フランス曲はむろん、ショパン、リスト、ファリャ、アルベニスそしてロシア曲などと幅広いレパートリーでの演奏活動を精力的に行うかたわら、多くのピアノ・ゼミナーを開き、後進の指導にも積極的にとりくんでいる。又、パリでの歌曲伴奏やビクターレコードの歌曲伴奏はマスコミ等でも高く評価されている。
1986年（株）プリンセス創芸を設立し、幼時よりピアニストに至るまでのピアノとソルフェージュのメソードの開発とユニークな授業を試みている。特に、ピアノ指導者養成に重点をおいた指導法は大きな成果を上げている。